



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 世代を超えた住民同士の交流「あったか交流会」 ～地域の活性化と社会福祉への理解と参加の促進に貢献～



自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 古川 陸佐）は、11月9日（土）塩野室地区社会福祉協議会が主催する「あったか交流会」において、昨年に引き続き自衛隊募集相談員（繪面幹夫 氏）の支援を受け、広報活動を実施した。「あったか交流会」は、地域に賑わいを創出するために地元住民が連携・協力し、「つながり」・「きずな」の構築を重要視するとともに、地元の各種団体や公民館事業との連携強化を図り、「世代を超えた地区のふれあい場所」として開催されているものである。

当日は、近隣の小林小学校ブラスバンド部及び小林中学校音楽部によるオープニングセレモニーから始まると、募集ブースでは、制服試着や背のうの展示及び缶バッジ釣り体験などを行い、家族連れを中心に大きな賑わいを見せていた。なかでも「缶バッジ釣り体験」は大人気であり、「ブルーインパルス」や「10式戦車」といった装備品の缶バッジを釣ろうと絶えず人だかりができていた。また、来場者からは、「子供が自衛隊に興味があるので一緒に迷彩服を着たり、自衛隊のバック（背のう）が背負えて良かった」、「自衛隊が好きで、去年も制服を着に来たんですよ」、「将来、自衛隊を考えているのでパンフレット貰ってもいいですか」との反響があり、自衛隊に対する理解を更に深める事ができた。

宇都宮募集案内所は「今後も、各関係協力団体と協力しながら、あらゆる機会を積極的に活用し、自衛隊の活動について理解を深めてもらうとともに、地域と一体となった採用広報活動を所員一丸となり推進していく」としている。

## 令和6年度就職援護広報等部隊研修

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、11月26日（火）から27日（水）の間、陸上自衛隊大和駐屯地及び航空自衛隊松島基地の支援を受けて「令和6年度就職援護広報等部隊研修」を実施した。

本研修は援護協力企業及び即応予備自衛官の雇用協力企業を招へいして、部隊を研修するの有用性に対する更なる理解促進、防衛基盤及び退職自衛官援護基盤の拡充を図るものであり、今年度は5社9名の企業主等の皆様に参加していただいた。大和駐屯地においては、第6偵察隊等の部隊説明、16式機動戦闘車等の装備品見学及び96式装甲車等の体験試乗を、松島基地においては、第11飛行隊、松島救難隊等の部隊説明及び施設見学等を実施した。第11飛行隊においては、航空自衛隊の花形であるブルーインパルス機との記念撮影や離陸する場面を間近で見学することが出来た。参加者一同は自衛隊における貴重な体験に感嘆の声を上げるとともに、様々な部隊で活躍する現職の自衛官に触れ、退職自衛官雇用の有用性をより一層理解していた。また、退職自衛官に対する援護及び即応予備自衛官雇用に対する協力態勢の強化が図れた。

栃木地本は「今後も、地本に与えられた各種目標達成のため、援護、募集、広報等が一丸となってあらゆる機会を活用し相乗効果を図りつつ目標達成に向けて全力で邁進していく」としている。



装備品の説明を受ける企業の皆様



ブルーインパルス機と記念撮影